

SKYLIGHT	クーリングフロー学説の終焉	牧島一夫, 池辺 靖	6
EUREKA	分子雲コアの重力収縮と連星系形成 —多層格子法を用いた超高解像度数値シミュレーション—	松本倫明	19
天球儀	干渉計サマースクール 2003 の報告	亀野誠二, 河野孝太郎	26
	畑中武夫をたずねて	矢治健太郎	32
シリーズ	《海外研究室事情 (49)》 JIVE (Joint Institute for Very Long Baseline Interferometry in Europe) 欧州超長基線電波干渉法共同研究所	今井 裕	40
書評	Agnes Mary Clerke and the Rise of Astrophysics	Mary Brück 著 小暮智一	43
雑報	箱根「授時暦」合宿	谷川清隆	44
	日本天文学会 早川幸男基金による渡航報告書 <i>IVOA Interoperability 2003</i>	田中昌宏	46
	日本天文学会 早川幸男基金による渡航報告書 <i>Particle Acceleration in Astrophysical Objects</i>	紀 基樹	47
	2002 年度博士・修士論文タイトル一覧	天文天体物理若手の会事務局	48
月報だより			62
再掲載	シミュレーションで探る惑星系形成	井田 茂, 小久保英一郎	

### 【表紙説明】

分子雲コアの奥深くで誕生している連星(原始連星). 原始連星は互いに公転しながら, ガスは星周円盤を介して原始連星へ降着する. 2つの原始連星を取り巻くように, 連星周円盤が形成している. 連星周円盤では, 衛星クランプが生まれ, それはやがて原始連星のひとつに合体する. この図は, 多層格子法による高解像度数値シミュレーションで再現した, 連星系形成の典型的なモデルである. この数値シミュレーションは, 分子雲コア全体の進化を解きながら, その中心部に存在する連星系も分解するという, 大変広いダイナミックレンジをカバーしている.

(EUREKA 参照)

### 【表紙コンセプト】

今年も天文月報の表紙を描かせていただき, 大変嬉しく思います. 夜空が皆さんにとって, 親しみのある存在で, 楽しく, 夢のあるものであるようにという思いを込めて, 絵にしました. また今年も, 衛星や天文台などのアイテムも増えました. どうぞ楽しんでごらんください.

(安部容子)